

ちばぎんの「三大疾病重点型全傷病団信(がん先進30付)」プラン

ちばぎんの「三大疾病重点型全傷病団信(がん先進30付)」は、より安心の保障で住宅ローンのご返済をサポートします!

(注)すべての方がご加入いただけるわけではありません。



ちばぎん

付保対象商品

「ちばぎん保証(株)保証付き住宅ローン」「セカンドハウスローン」「無担保住宅ローン」「住まいのリフォームローン」など

※商品の詳しい内容は、店頭またはホームページの商品説明書をご覧ください。

ご利用いただける方

新規にお借入される方で、お借入時の年齢が満18歳以上満51歳未満、かつ完済時の年齢が満80歳未満(無担保住宅ローンは満75歳未満、住まいのリフォームローンは満70歳未満)の方

※配偶者がん保障は、配偶者の年齢がお借入日時点で満18歳以上満60歳未満の方が対象となります。また、保障期間は配偶者の満81歳到達までとなります。

ご融資利率

上記対象商品の適用金利+年0.3%

- 銀行が保険契約者となり、お借入される方を被保険者とする団体信用生命保険です。
- 保険料は保険契約者である銀行が保険会社に払い込みます。
- 保険会社から支払われる保険金は銀行が受け取り、ローン債務の返済に充当します。
- 保障内容:
被保険者が以下の保険金支払事由に該当された場合に、ローン残高の100%相当額が保険金として支払われます。※保険金が支払われないケースがございます。くわしくは「被保険者のしおり」をご参照ください。
 - 死亡されたとき
 - 所定の高度障害状態に該当されたとき
 - 医師の診断書等で保険会社に余命6か月以内と判断されたとき
 - ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中にがん(所定の悪性新生物)に罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたとき
 - ご融資日(責任開始日)以降の疾病を原因として、保険期間中に急性心筋梗塞または脳卒中を発病し、その急性心筋梗塞または脳卒中により初めて医師の診断を受けた日からその日を含めて60日以上、所定の状態が継続したと医師によって診断された場合、またはその治療を直接の目的とした所定の手術を受けたとき
 - ご融資日(責任開始日)以後に発生した傷害または所定の疾病*により継続して180日以上入院されたとき

● 入院一時給付特約の保障内容:

ご融資日(責任開始日)以後に発生した傷害または所定の疾病*により継続して5日以上入院されたときは、入院一時給付金(10万円)が被保険者へ直接支払われます。

● 月次債務返済支援給付特約の保障内容:

ご融資日(責任開始日)以後に発生した傷害または所定の疾病*により継続して31日以上入院されたときは、初回入院給付金(住宅ローンの月々の予定返済額)が被保険者へ直接支払われます。それ以後も入院が継続して30日に達するごとに継続入院給付金(住宅ローンの月々の予定返済額)が支払われます。

※1回の入院あたり最大5回、ローン返済期間を通じて最大36回支払われます(ボーナス分も含みます)。

※精神障がいを除く全ての病気とけがが保障の対象となります。

● がん診断給付特約(本人型)の保障内容:

被保険者が、ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中に、がん(所定の悪性新生物)に罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたときは、がん診断給付金(100万円)が被保険者へ直接支払われます。

※すでに当行でがん診断給付特約(本人型)にご加入されている場合、新たにこの特約にお申込みいただくことはできません。

※お支払いは1回のみとなります。

● がん診断給付特約(配偶者型)の保障内容:

被保険者の配偶者が、ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中に、がん(所定の悪性新生物)に罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたときは、がん診断給付金(100万円)が被保険者の配偶者へ直接支払われます。

※すでに当行でがん診断給付特約(配偶者型)にご加入されている場合、新たにこの特約にお申込みいただくことはできません。

※お支払いは1回のみとなります。

● 上皮内がん・皮膚がん診断給付特約(本人型)

被保険者が、ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中に、所定の上皮内がん、または所定の皮膚がんに罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたときは、上皮内がん・皮膚がん診断給付金(50万円)が被保険者へ直接支払われます。

※すでに当行で上皮内がん・皮膚がん保障にご加入されている場合、新たにこの特約にお申込みいただくことはできません。

※お支払いは1回のみとなります。

● がん先進医療給付特約(2024)(本人型)

被保険者が、ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中に、がん(所定の悪性新生物)を原因として所定の先進医療による療養を受けたときに、先進医療に係る技術料のうち被保険者が負担する費用と同額を保障します(お支払いは1回の先進医療につき2,000万円を限度とし、通算して2,000万円までとなります)。加えて、一時金30万円を保障します(同一の先進医療として受けた療養について1回までとなります)。

※がん(所定の悪性新生物)と診断確定された日から1年間に、その悪性新生物(がん)を直接の原因として受けた療養に限ります。

※すでにクレディ・アグリコル生命の先進医療給付を行う特約にご加入されている場合、新たにこの特約にお申込みいただくことはできません。

付帯保険の概要

三大疾病重点型全傷病団信(がん先進30付)

クレディ・アグリコル生命保険株式会社 (保険内容についてご不明な点は同社の下記カスタマーサービスセンターへお問い合わせください)
TEL 0120-60-1221 受付時間9:00~17:00(祝日、年末年始を除く月曜日~金曜日)

その他留意点

保障内容の詳細等については、「被保険者のしおり」をご参照いただくか、上記の引受保険会社までお問い合わせください。

※ローンのお申込みにあたりましては、当行および保証会社の審査がございます。審査の結果によりましては、ご希望に添いかねる場合もございます。



ちばぎんホームページ
<https://www.chibabank.co.jp/>



ちばぎん 検索

2025年10月現在
2025.10.10

※精神障がいは除きます。

すべての病気やけが*を保障する団体信用生命保険

三大疾病重点型全傷病団信

(がん先進30付)



死亡・所定の高度障害状態となつた場合

医師の診断書等で保険会社に余命6か月以内と判断された場合

がん(所定の悪性新生物)と診断確定された場合

急性心筋梗塞・脳卒中で所定の状態が60日以上継続したとき、または所定の手術を受けたとき

病気やけがで入院が継続して180日以上*1となつた場合

住宅ローン残高が
0円

病気やけがで入院が連続して5日以上となつた場合 **10万円** が支払われます

病気やけがで入院が連続して31日以上となつた場合、月々の住宅ローンの返済額をお支払いします

がん(所定の悪性新生物)と診断確定された場合 **100万円** が支払われます



配偶者ががん(所定の悪性新生物)と診断確定された場合 **100万円** が支払われます

所定の上皮内がん・所定の皮膚がんと診断確定された場合 **50万円** が支払われます

がんと診断確定された日から、1年内にがんを原因とする先進医療の療養を受けたら 通算 **2,000万円 + 一時金 30万円**

安心のサポートサービス



- ご加入にあたっては、「被保険者のしおり」を必ずご一読いただき、保障内容の詳細をご確認ください。
- ご加入には保険会社所定の引受審査がございます。すべての方がご加入いただけるわけではありません。
- ローンのお申込みについても別途、当行所定の審査がございます。審査結果によりましてはご希望に添いかねる場合もございます。

*

※1 最初の31日は連続した入院である必要があります。※2 給付金のお支払いにはそれぞれ支払回数に上限があります。詳しくは本資料裏面または「被保険者のしおり」をご確認ください。

三大疾病重点型全傷病団信(がん先進30付)の特徴

一般的の団体信用生命保険の保障内容(死亡・所定の高度障害状態)に加え、

急性心筋梗塞・脳卒中で所定の状態が60日以上継続したら、
または所定の手術を受けたら

- 所定の状態とは 急性心筋梗塞:労働の制限を必要とする状態が継続した場合
脳卒中:言語障害、運動失調、麻痺等の他覚的な神経学的後遺症が継続した場合
- 所定の手術とは 治療を直接の目的として、器具を用い、生体に切断、摘除などの操作を加えるもので、かつ、次の(1)~(4)に該当するものを指します。
(1)開頭術 (2)開胸術 (3)ファイバースコープ手術 (4)血管・バスケットカテーテル手術

病気やけがで180日以上継続して入院となったら

対象となるおもな病気やけが

- 【生活習慣病】糖尿病・高血圧性疾患・腎疾患(慢性腎不全等)・肝疾患(ウイルス肝炎・肝硬変等)・慢性膀胱炎・脳血管疾患(脳卒中等)・心疾患(急性心筋梗塞・心筋症等)・大動脈瘤及び解離・上皮内新生物・皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん
- 【その他の病気やけが】
例)骨折、脊椎障害、慢性閉塞性肺疾患、頭蓋内損傷及び内臓の損傷、パーキンソン病、結核、脳性麻痺、腸管感染症等
※融資日(責任開始日)以後に発生した傷害または発病した所定の疾病を直接の原因とし、その治療を目的とした入院が継続して、180日以上となった場合に保険金が支払われます。
※精神障がいを除く全ての病気やけがが保障の対象となります。

がんと診断確定されたら

- ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日経過後に、がん(所定の悪性新生物)に罹患したと診断確定された場合、**がんの進行程度にかかわらず、診断確定時点の住宅ローン残高相当額が保険金として支払われ、住宅ローン残高が0円になります。**
- 保険金が支払われて残高が0円になった住宅ローンは、がんが治った後に、**住宅ローンの支払いが再開することもありません。**

※「上皮内がん」及び「皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん」は、お支払いの対象となりません。
※責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)以内にがん(所定の悪性新生物)と診断確定された場合には、がん診断保険金は支払われません。

医師の診断書等で保険会社に **余命6か月以内** と判断されたら

住宅ローン残高が
0円



病気やけがで入院が連続して
5日以上となった場合
ローン返済期間を通じて最大12回

10万円
が支払われます

31日以上となった場合
以降も入院が継続して30日に達することに
1回の入院あたり最大5回、
ローン返済期間を通じて最大36回

月々の住宅ローンの
ご返済額をお支払いします
(ボーナス分も含みます)

本人または
配偶者が
がんと診断
確定されたら

※「上皮内がん」及び「皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん」は、お支払いの対象となりません。
※責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)以内にがん(所定の悪性新生物)と診断確定された場合には、がん診断給付金は支払われません。
※お支払いは本人、配偶者それぞれで1回のみとなります。

一時金
100万円
が支払われます

本人が
上皮内がん、
皮膚がんと
診断確定されたら

※責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)以内に所定の上皮内がんまたは所定の皮膚がんと診断確定された場合には、上皮内がん・皮膚がん診断給付金は支払われません。
※お支払いは1回のみとなります。

一時金
50万円
が支払われます

がんを原因とする
先進医療の
療養を受けたら

※がん(所定の悪性新生物)と診断確定された日から1年以内に所定の先進医療の療養を受けた場合に支払われます。
※一時金は、同一の先進医療として受けた療養について1回までとなります。

通算
2,000万円
+一時金
30万円

安心の
サポートサービス付
です。

安心の付帯サービス

24時間電話
健康相談サービス

セカンドオピニオン
サービス

24時間・年中無休で、経験豊かな医師、看護師、保健師等相談スタッフがサポートさせていただきます。

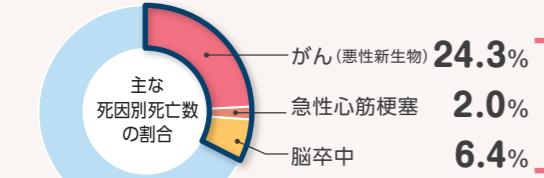
- 育児相談
- 医療相談
- 健康相談
- 介護相談
- メンタルヘルスの相談
- 医療機関情報提供

病名やご希望地域などをお聞きしたうえで、ドクターたちにより推薦・選考された専門医をご案内します。

※24時間電話健康相談サービスは、住宅ローン借入者本人とそのご家族が利用できます。
※セカンドオピニオンサービスは、住宅ローン借入者本人限定のサービスです。



三大疾病【がん・急性心筋梗塞・脳卒中】は日本人にとって身近なリスクです



日本人のおよそ **3人に1人** が
三大疾病が原因でお亡くなりに。

出典:厚生労働省「令和5年人口動態統計(確定数)の概況」

病気やけの基礎知識

1. 対象となる病気とけがの種類

病気とけがの総数 **1,585種類***

*厚生労働省「疾病、障害及び死因の統計分類」における基本分類表よりクレディ・アグリコル生命にて集計
三大疾病重点型全傷病団信(がん先進30付)では、精神障がい78種類を除く全ての病気とけがが保障の対象となります!

2. おもな長期入院(6か月以上)の傷病*

長期入院患者数	傷病分類	おもな傷病例
75.3千人	神経系の疾患	パーキンソン病、脳性麻痺
50.2千人	循環器系の疾患	脳梗塞、脳内出血、心疾患、くも膜下出血
12.2千人	損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折、頭蓋内損傷及び内臓損傷
10.8千人	呼吸器系の疾患	肺炎、慢性閉塞性肺疾患、喘息
8.7千人	筋骨格系及び結合組織の疾患	炎症性多発性関節障害、関節症、脊髄障害

出典:厚生労働省「令和5年患者調査」よりクレディ・アグリコル生命にて集計

3. おもな病気やけがの平均入院日数

傷病名	インフルエンザ	喘息	急性気管支炎	胃潰瘍	肺炎	骨折
平均入院日数	5.2日	8.2日	8.8日	19.5日	26.0日	35.4日

出典:厚生労働省「令和5年患者調査」より抜粋

全体の平均入院日数
28.4日

生活習慣病以外にも日常のさまざまな病気やけがで入院する可能性があります。

がんの基礎知識
01 がんの罹患リスク

男性・女性ともにおよそ2人に1人はがんになる可能性があります(出典①)。がんに罹患する方は、年間98万人を超えています(出典②)。

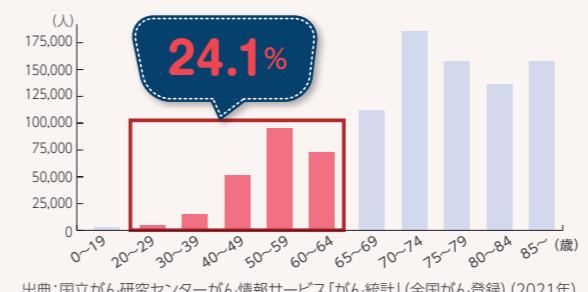


※がんは一般的に年齢とともに罹患率が上昇するので、ローン返済適齢期の方の2人に1人が必ずがんになることを意味するものではありません。

出典①:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2025」年齢階級別罹患リスク(2020年罹患・死亡データに基づく)
出典②:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)(2021年)よりクレディ・アグリコル生命が作成

がんの基礎知識
02 年代別がん罹患者数

がん罹患者の約4人に1人は就労世代です。



出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)(2021年)よりクレディ・アグリコル生命が作成

がんの基礎知識
04 がん罹患後の就労状況の変化
(がん診断時に仕事をしていた方)

がん罹患者後に、勤務先を退職する方も珍しくありません。



出典:国立がん研究センター厚生労働省委託事業「患者体験調査報告書 令和5年度調査(速報版)」よりクレディ・アグリコル生命が作成

がんの基礎知識
05 先進医療にかかる技術料の自己負担額の例

先進医療の費用は公的医療保険制度の給付対象にならないため、高額に及ぶことがあります。

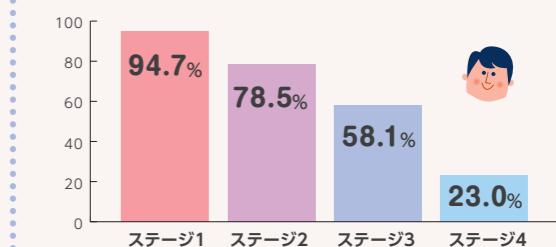
先進医療(自由診療)	保険診療
自己負担(全額)	自己負担(約3割)
費用 1件あたり	保険給付(約7割)
重粒子線治療 約313万円	保険診療 約265万円

※右記先進医療にかかる技術料は、医療機関によって金額が異なります。また、具体的な先進医療技術やその適応症については、変更されることがあります。厚生労働省ホームページにてご確認いただけます。
出典:厚生労働省「先進医療の実績報告について」令和5年度実績報告

がんの基礎知識
06 がんの部位別罹患状況

がんの基礎知識
03 全がんの臨床病気別5年相対生存率

早期発見の場合、相対的に生存率が高くなります。



出典:全国がんセンター協議会の生存率共同調査(2012年-2014年集計)による

出典:全国がんセンター協議会の生存率共同調査(2012年-2014年集計)による

がんの部位別罹患状況
1位 前立腺
2位 大腸
3位 肺
4位 胃
5位 肝臓

部位
罹患数
割合

女性特有のがんも対象

出典:国立研究開発法人国立がん研究センター「2024年がん統計予測」